

理学療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解	医療英語 Medical English	必修	講義	30	(2)		30							医療現場に関係する英単語・英文・文法・発音等を修得する。	◎		
		情報科学 Information Science	〃	講義 演習	30	(2)	30								情報科学の基礎理論を学び、情報機器の操作・仕組みを理解し理学療法に必要な情報処理能力を身につける。	○	◎	
		生物学 Biology	〃	講義	30	(2)	30								生物としての人間の構造と働きを理解出来る。	◎		
		倫理学 Ethics	〃	〃	30	(2)							30		現代医療における臓器移植、尊厳死など生と死の問題を考えることが出来る。	○		◎
		健康科学 Health Science	〃	講義 演習	30	(2)	30								理学療法分野における健康増進・予防について理解出来る。	◎		
		コミュニケーション論 Communication Theory	〃	〃	30	(2)	30								グループワークを通して、医療人として話す・表現するというコミュニケーション能力を修得出来る。	○	○	◎
		社会学 Sociology	〃	講義	30	(2)		30							医療や理学療法における社会現象について考えることが出来る。	○	○	◎
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	骨関節系 解剖生理学Ⅰ Anatomical Physiology -Orthopedics	〃	講義 演習	60	(3)	60								人体の骨・関節の解剖学・生理学を説明することが出来る。	◎		
		骨関節系 解剖生理学Ⅱ Anatomical Physiology -Orthopedics	〃	〃	30	(2)		30							人体の骨・関節の解剖学・生理学を説明することが出来る。	◎		
		神経系 解剖生理学Ⅰ Anatomical Physiology -Nervous System	〃	〃	60	(3)	60								人体の神経系の解剖学・生理学を説明することが出来る。	◎		
		神経系 解剖生理学Ⅱ Anatomical Physiology -Nervous System	〃	〃	30	(2)		30							人体の神経系の解剖学・生理学を説明することが出来る。	◎		
		内部系 解剖生理学 Anatomical Physiology -Internal Medicine	〃	〃	60	(3)		60							人体の各臓器や組織の解剖学・生理学を説明することが出来る。	◎		
		運動学 Kinematics	〃	〃	60	(3)			60						人体の各関節の機能運動学について説明出来る。	◎		
		解剖生理学実習 Anatomical Physiology & Practice	〃	演習	30	(1)		30							人体の構造、組織、器官などを理解するために精密機械を説明することが出来る。	○	◎	△
		動作学Ⅰ KinesiologyⅠ	〃	講義 演習	30	(2)		30							基本的動作とそのバイオメカニクスについて説明出来る。	◎		
		動作学Ⅱ KinesiologyⅡ	〃	〃	30	(2)			30						基本的動作における正常動作について説明することが出来る。	◎	○	
		人間発達学 Human Growth & Development	〃	講義	30	(2)				30					人間の発達を、社会的・神経学的・運動発達の側面から説明することが出来る。	◎		
		体表解剖学 Body Surface Anatomy	〃	演習	30	(1)		30							人体の表面筋を触察することが出来る。	◎	○	△

理学療法士学科(夜間部)

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 基 礎 分 野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学 Pathology	必修	講義	30	(2)			30						疾病を学ぶにあたり、組織・細胞などの形態学的な病変について説明出来る。	◎		
		臨床心理学 Clinical Psychology	〃	〃	30	(2)							30		臨床心理における理論を体系的に学ぶ。分析技法・発達等を通し、アセスメントについて説明出来る。	◎		
		精神医学 Psychiatry	〃	〃	30	(2)						30			精神障害の病因、類型、経過、治療などの精神医学の基礎を説明出来る。	◎		
		整形外科学Ⅰ OrthopedicsⅠ	〃	〃	30	(2)			30						理学療法士に必要な整形外科的疾患の病態・診断・治療について説明出来る。	◎		
		整形外科学Ⅱ OrthopedicsⅡ	〃	〃	30	(2)				30					理学療法士に必要な整形外科的疾患の病態・診断・治療について説明出来る。	◎		
		神経内科学Ⅰ Neuro Internal MedicineⅠ	〃	〃	30	(2)			30						理学療法士に必要な神経内科的疾患の病態・診断・治療について説明出来る。	◎		
		神経内科学Ⅱ Neuro Internal MedicineⅡ	〃	〃	30	(2)				30					理学療法士に必要な神経内科的疾患の病態・診断・治療について説明出来る。	◎		
		内科学Ⅰ Internal MedicineⅠ	〃	〃	30	(2)			30						理学療法士に必要な内科的疾患の病態・診断・治療について説明出来る。	◎		
		内科学Ⅱ Internal MedicineⅡ	〃	〃	30	(2)				30					理学療法士に必要な内科的疾患の病態・診断・治療について説明出来る。	◎		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論 Introduction to Rehabilitation	〃	〃	30	(2)	30								リハビリテーションの理念（歴史、自立支援、就労支援等）を理解し、多職種連携の重要性について説明出来る。	○	○	◎
		リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	〃	〃	30	(2)							30		リハビリテーション医学の歴史や体系について学び、また障害の診断・治療について説明出来る。薬学・栄養学・画像診断・救急救命及び予防の基礎も含む。	◎	○	○
専 門 分 野	基礎理学療法	理学療法概論 Introduction to Physical Therapy	〃	〃	30	(2)	30								理学療法の歴史や法律、教育カリキュラムや治療システムを説明出来る。	○	○	◎
		運動療法学 Therapeutic Exercise	〃	講義 演習	30	(2)				30					基本的な運動療法について学ぶ。各理論を元に、実際の方法論について実技を通して実践出来る。	◎		
		理学療法技術論 Physical Therapy Skill	〃	〃	30	(2)					30				各種疾患に対する運動療法について、基本的なアプローチが出来る。	◎	○	△
		物理療法学 Physio Therapeutics	〃	〃	30	(2)				30					物理療法学で学んだ知識を用いて、各種機器の取り扱いが出来る。	◎		
		義肢装具学 Prosthesis & Orthosis	〃	〃	30	(2)					30				基本的な義肢・装具の構造と機能、各疾患への適応について説明出来る。	◎		
	理学療法管理	理学療法管理学 Physical Therapy Management	〃	講義	30	(2)							30		理学療法におけるマネジメントについて説明出来る。	△	○	◎
	理学療法評価	理学療法評価Ⅰ Physical Therapy EvaluationⅠ	必修	講義 演習	60	(3)			60						運動器疾患における基本的な検査測定が出来る。	◎	○	△

理学療法士学科(夜間部)

系 列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時 間 数	単 位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専 門 分 野	理 学 療 法 評 価 学	理学療法評価学Ⅱ Physical Therapy EvaluationⅡ	〃	〃	60	(3)				60					中枢疾患における基本的な検査測定が出来る。	◎	○	△
		疾患別動作分析学 Operation Analysis Study According to Disease	〃	〃	30	(2)				30					疾患別における基本的動作の動作分析が出来る。	○	◎	
	理 学 療 法 治 療 学	理学療法治療学Ⅰ-A - 骨関節 Physical Therapy for Orthopedics	〃	〃	60	(3)					60				骨関節疾患に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅰ-B - スポーツ・ウィメンズヘルス - Physical Therapy for Sports ・ Women's Health	〃	〃	30	(2)							30		スポーツ・ウィメンズヘルスにおける基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅰ-A - 中枢神経 - Physical Therapy for Neurosurgery	〃	〃	60	(3)					60				脳血管障害に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅱ-B - 神経筋・脊髄損傷 - Physical Therapy for Neuromuscle Disease・ Spinal Cord Injury	〃	〃	30	(2)						30			神経・筋疾患に対する理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅲ - 末梢神経 - Physical Therapy for Peripheral Nerve	〃	〃	30	(2)					30				末梢神経疾患に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅳ - 発達 - Physical Therapy for Pediatrics	〃	〃	30	(2)						30			小児疾患に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅴ-A - 循環・呼吸 - Physical Therapy for Circulation・Respiratory	〃	〃	30	(2)						30			循環器・呼吸器疾患に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅴ-B - 代謝・癌 - Physical Therapy for Metabolic Disease・Cancer	〃	〃	30	(2)						30			代謝・癌疾患に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		理学療法治療学Ⅵ - 疼痛・皮膚 - Physical Therapy for Pain・Burn	〃	講義 演習	30	(2)						30			疼痛・熱傷に対する基本的理学療法を説明することが出来る。	○	◎	△
		地域理学療法学 Physical Therapy for Community	〃	講義	30	(2)							30		地域理学療法の意義・現状について説明出来る。	○	◎	○
		生活環境論 Patient Living Environment	〃	講義 演習	30	(2)							30		生活行動を支援するための住宅改造、福祉機器の介入など日常生活動作へのアプローチを説明出来る。	◎	○	○
	臨 床 実 習	見学実習 Visit training	〃	実習	40	(1)		40							病院・施設での理学療法士の業務全般を見学し、理学療法士の役割やリハビリテーションにおける位置づけを説明出来る。	◎	△	○
		地域リハビリテーション実 習 Training of Community PT	〃	〃	40	(1)				40					通所施設・訪問リハでの理学療法士の業務全般を見学し、理学療法士の役割やリハビリテーションにおける位置づけを説明出来る。	◎	△	○
		実習前演習Ⅰ (CBT) Pre Clinical training ExerciseⅠ	〃	演習	40	(1)					40				臨床実習に向けての知識の獲得と判定 (CBT) を行う。	◎		
		実習前演習Ⅱ (OSCE) Pre Clinical training ExerciseⅡ	〃	〃	40	(1)					40				臨床実習に向けての技術の獲得と判定 (OSCE) を行う。	◎	○	
		評価実習 Evaluation training	必修	実習	160	(4)						160			理学療法の対象者に対して、実習指導者の監督のもと基本的理学療法を見学～模倣レベルで実践出来る。	○	◎	○

理学療法士学科(夜間部)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単位 数	1年		2年		3年		4年		講義概要	DP1	DP2	DP3
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専門分野	臨床実習	総合実習Ⅰ Total Clinical trainingⅠ	〃	〃	280	(7)							280		理学療法の対象者に対して、実習指導者の監督のもと基本的理学療法を模倣出来る。	○	◎	○
		総合実習Ⅱ Total Clinical trainingⅡ	〃	〃	280	(7)							280		理学療法の対象者に対して、実習指導者の監督のもと基本的理学療法を模倣出来る。	○	◎	○
その他	その他	国家試験演習Ⅰ The Prac of Qualifying ExamⅠ	〃	演習	30	(1)		30							国家試験問を活用して理学療法に必要な知識を獲得する。	◎		
		国家試験演習Ⅱ The Prac of Qualifying ExamⅡ	〃	〃	30	(1)			30						国家試験問を活用して理学療法に必要な知識を獲得する。	◎		
		国家試験演習Ⅲ The Prac of Qualifying ExamⅢ	〃	〃	30	(1)				30					国家試験問を活用して理学療法に必要な知識を獲得する。	◎		
		国家試験演習Ⅳ The Prac of Qualifying ExamⅣ	〃	〃	30	(1)						30			国家試験問を活用して理学療法に必要な知識を獲得する。	◎		
		国家試験演習Ⅴ The Prac of Qualifying ExamⅤ	〃	〃	240	(8)							240		国家試験問を活用して理学療法に必要な知識を獲得する。	◎		
		総合演習Ⅰ IntegrationⅠ	〃	講義演習	30	(2)					30				理学療法プロセスについて説明出来る。	○	◎	△
		総合演習Ⅱ IntegrationⅡ	〃	〃	30	(1)						30			模擬症例に対して理学療法評価～治療プログラム作成を経験する。	○	◎	△
		総合演習Ⅲ IntegrationⅢ	〃	〃	30	(1)							30		模擬症例に対して一連の理学療法プロセスを経験する。	○	◎	△
		理学療法研究法 Methods of Clinical Research	〃	〃	60	(2)							30	30	理学療法研究の基礎を理解し、テーマごとに研究に取り組み発表する。	○	◎	○
		特別講義 Special Lecture	〃	〃	30	(1)							30	業界において専門性に優れた講師による、より実践的な治療が出来る。	◎	○	△	
総時間数					3130	145	300	340	300	340	320	400	710	420				